



油断大敵 みんなで防ごう油の流出事故

～注意は数分、事故処理は数日にも～

油や有害な物質が川などへ流出すると、魚などが死んだり、水道水の取水ができなくなることがあります。

このような水質事故は、平成28年に新潟県内の信濃川水系では143件発生しており、そのうち63件が信濃川下流域で発生しています。

誤って油等を流出してしまった場合や事故を発見したら、直ちに最寄りの県の環境センター、市役所・町村役場又は消防署に連絡して下さい。迅速な対応が被害の発生や拡大を防ぐこととなります。

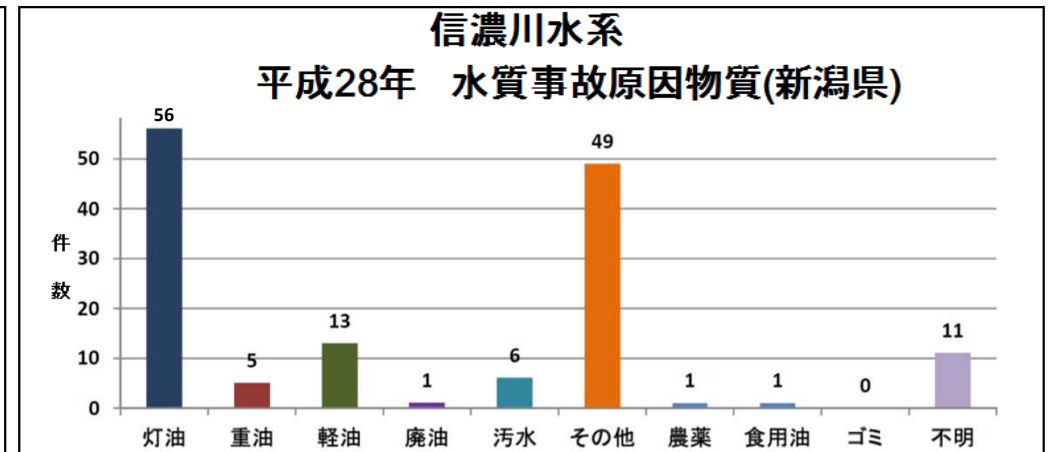
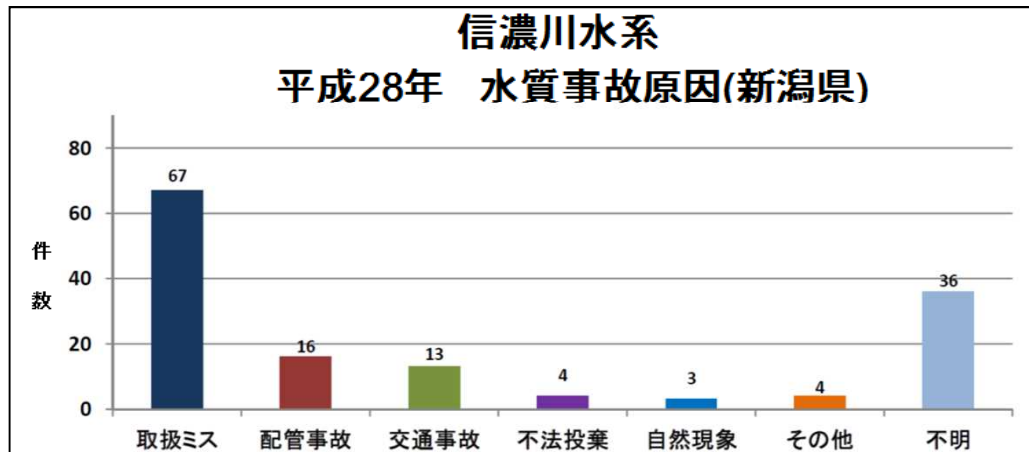
河川等に流出した油等の回収・処理のための費用は、原因者の負担となりますので、取扱には十分注意してください。

水質事故を防ぐポイント

- 給油作業中は、絶対に現場を離れないようにしましょう。
- 給油後は、忘れずにバルブをきちんと閉めましょう。
- タンクや配管に破損がないか、よく点検しましょう。
- 油送設備の操作ミス、誤操作に注意しましょう。



ーオイルフェンス、吸着マット設置状況ー



※ 水質事故の原因別にみると、「取扱ミス」と「配管事故」による件数が全体の半数を超えています。また、原因物質でみると、灯油・重油・軽油等の油類が、全体の約半数を占めています。特に冬場には灯油の使用頻度が増えますので、取扱には十分御注意下さい。